



# 月刊喜界島ジオパーク令和7年8月号

喜界島ジオパーク推進協議会事務局員 土屋純子

## ジオパーク推進協議会を

### 開催しました！

6月30日、令和7年度喜界島ジオパーク推進協議会を開催しました。この協議会は年に2回開かれ、喜界島ジオパーク（構想）の方向性を決める大切な場です。評議員全員が出席し、プロジェクトチーム員も参加しました。

まずは、5月に実施された公開プレゼンテーションの動画を視聴し、その結果、現地調査の実施が決定したことが報告されました。

続いて、役員体制の継続について、昨年度の活動報告および今年度の活動計画案について話し合いが行われ、いずれも承認されました。

閉会の際には、外内副会長より「ジオパーク（構想）は、喜界島の未来を拓く大切な取り組みです。地域全体で力を合わせ、取り組みを広げてい

きましょう！」という力強い挨拶がありました。

## 公民館講座を

### 実施しました！

7月12日に、公民館講座「喜界島の大地を知る体験教室」の第2回目、「潮間帯の生き物の観察」と3回目「シュノーケリング」を開催しました。

講師には、喜界島サンゴ礁科学研究所から鈴木地域環境計画室長と富技術員をお迎えしました。

午前の第2回目は、荒木の海岸を歩いて観察しました。観察内容の一部をご紹介します！



・離水したばかりのサンゴ

海から上がって間もないため、内部に砂が入っており、特に枝状サンゴはそのままの美しい形で観察できました。

・石切り場跡

かつてこの場所で切り出されたサンゴの石は、墓石や家の礎石として利用されていたそうです。



・珍しい「ダブルノッチ」！

ノッチとは、波や潮の作用によって岩が削られてできた、くびれやくぼみのこと。荒木の海岸では、上下2段に

削られた非常に珍しい「ダブルノッチ」を確認することができました。



・小さなカニや魚など、たくさん生き物たちにも出会えました！

受講生からは、「普段、海の近くには行くけれど、中を歩くのは初めてでとても新鮮！島に住んでいるんだから、もっと早く来ればよかった」との感想も。

終始、和やかでワイワイとした雰囲気の中、第2回目の磯観察は大盛況のうちに終了しました！

午後からは、公民館講座第3回目として、シュノーケリングをハワイビーチで実施しました。

まずは、安全に楽しむために、ライフジャケットやマスク、フィンなどの器材の正しい使い方をしっかりとレクチャーしていただきました。受講生の中には、「一昨年の講座でシュノーケリングを体験してから、自分用の道具を一式そろえました！」という声もありうれし限りです。

海に入ると、目の前にはカラフルな魚たちと、広がるサンゴ。講師によるサンゴの解説も交えながら、水中世界をじっくりと観察し思わず歓声が上がる場面も！興奮と感動のうちに、第3回目の講座も終了です。

講師お二人の軽妙でわかりやすい解説により、実物を見ながらの観察で理解がぐっと深まりました。喜界島の海を知った大満足の日となりました。

次回は喜界島の地層見学の予定です。お楽しみに！